

第 327 回研究報告会 (11 月 29 日)

「教学における『からとにほん』理解の展開と課題」

天理教校
遠藤正彦

「おふでさき」の中に「からとにほん」という言葉が記されている。この言葉を検討しようとする際、問いの立て方として二つの方向性が考えられる。一つは「からとにほんとは、何か」ということであり、もう一つは「何故、からとにほんなのか」と問うことである。前者については、主に戦後の教学的展開の中で『おふでさき附註釈』の解釈が一つの到達点を示していると考えられる。一方、後者のアプローチは上田嘉成『「おふでさき」に於けるにほん・から・てんじくに就いて』（『復元』22号所収）を嚆矢とし、その後、ほとんど展開されないままになっている。このことが課題の一つではないかと思われる。上田論文において「からとにほん」、特に「にほん」はその原義に遡って検討され、「全く一般語としての域を脱して、天理教独特の述語、言うならば神用語と成つて居る」というプロセスをたどることで「からとにほん」の理解をより深めていく。今回の発表では上田論文のアプローチをふまえ、加藤典洋による「日本人」及び「日本」理解の方法を補助線としながら、「何故、からとにほんなのか」という方向から教学的理解を展開していくことを試みた。

第 328 回研究報告会 (12 月 6 日)

「ヌン族の華人と中越国境地域の神々」

天理大学国際学部教授
芹澤知広

本報告はベトナム華人社会の宗教現象についての民族誌的・歴史的研究の一部である。ホーチミン市の華人社会では「唐話」といわれる広東語が共通語になっており、「華人」のことを広東語で「唐人」という。その唐人に、「海防話」と呼ばれる独特

の広東語を話す人々がいて、彼らは「海防人」と呼ばれており、ベトナムの研究者は彼らを「ヌン族の華人 (Hoa Nùng)」と呼んでいる。彼らは、現在のベトナム北部のクアンニン省に 1946 年に成立したヌン自治区から、1954 年にベトナム南部へと移住した人々とその子孫である。ヌン族の華人がベトナム南部で祀る神格には、彼らの故地である中越国境地域に由来する神々が含まれている。中心的な宗教施設である「護国観音廟」には、観世音菩薩の他に、クアンニン省の役人「案首公公」と、ベトナムの反乱を鎮圧した中国の將軍「伏波將軍」が対になって祀られている。また土地神は「社王」という名称で祀られている。

宗教研究会を開催 (12 月 21 日)

「20 世紀前半の中国ムスリムに対する欧米キリスト教宣教師の活動」

日本学術振興会特別研究員 PD (中央大学)
ウズベキスタン共和国科学アカデミー歴史学研究所客員研究員
海野典子

19 世紀中葉、欧米列強との戦争に敗れた清朝が結ばされた不平等条約によって布教保護権が承認されると、欧米のキリスト教宣教師は本格的に中国での布教活動を開始した。特に、中国内陸部での布教を重視した英国の中国内地宣教会や、対ムスリム宣教の必要性を主張した米国の移民交友会によって、漢語を話すムスリムに対しても組織的な宣教活動が展開された。本報告は、20 世紀前半の中国ムスリムに対する欧米のキリスト教宣教師の活動について、以下 3 点を指摘した。第一に、宣教師たちはイスラーム教義を批判し、ムスリムの生活習慣や信仰を尊重しなかったため、多くの場合反感を買った。第二に、ムスリム知識人のなかには、宣教師からの批判を受けて中国イスラームの現状を反省し、教育改革を試みる者もいた。第三に、ムスリムと友好的な関係を築いた一部の宣教師が残した記録や史料は、当時の中国ムスリム社会の諸相を克明に伝えてくれる貴重な資料である。

『グローバル天理』年間購読のご案内

原則的に新年度は 1 月号からとなっております。購読料については、送料のみの実費負担です。申し込みは、封書、FAX、メールでお願い致します (お電話での申し込みはご遠慮下さい)。毎月の希望冊数と、氏名 (フリガナも)、郵便番号、住所、電話、FAX、E-Mail、職業をお知らせ下さい。申し込み受付後に振込み用紙を送付致します。切手・現金でのお支払いはご遠慮くださいますようお願い致します。振込みを確認後、発送させていただきます。

送料 (ヤマト運輸 DM 便)

全国一律 167 円 (角 2 封筒、重さ 1 kg [約 20 冊] まで)

【例】毎月購読 167 円 × 12 カ月 = 2,004 円

問い合わせ先:

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050
天理大学 おやさと研究所「グローバル天理」編集部
FAX 0743-63-7255
E-Mail: oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

本文関連行事のご案内

天理ギャラリー第 169 回展
「こけしⅡ - 遠刈田と土湯、中ノ沢 -」

【会期】2020 年 2 月 22 日 (土) ~ 4 月 4 日 (土)

【開館時間】午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 30 分

(入館は午後 5 時まで)。日曜休館。入館無料

【アクセス】

JR (神田)、東京メトロ銀座線 (神田)・千代田線 (新お茶ノ水)・丸ノ内線 (淡路町)、都営地下鉄新宿線 (小川町) 下車徒歩 10 分

【主催】天理ギャラリー

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-9 東京天理ビル 9 階 TEL 03-3292-7025

【協力】

一般社団法人日本人形玩具学会 / 東京こけし友の会 / 青葉こけし会 / ふくしまこけし談話会 / こけしと語る会

こけし製作実演

2 月 22 日 (土) 土湯系: 阿部国敏 工人

3 月 20 日 (祝) 遠刈田系: 佐藤正廣・康広 工人

両日とも午前 10 時から午後 5 時まで